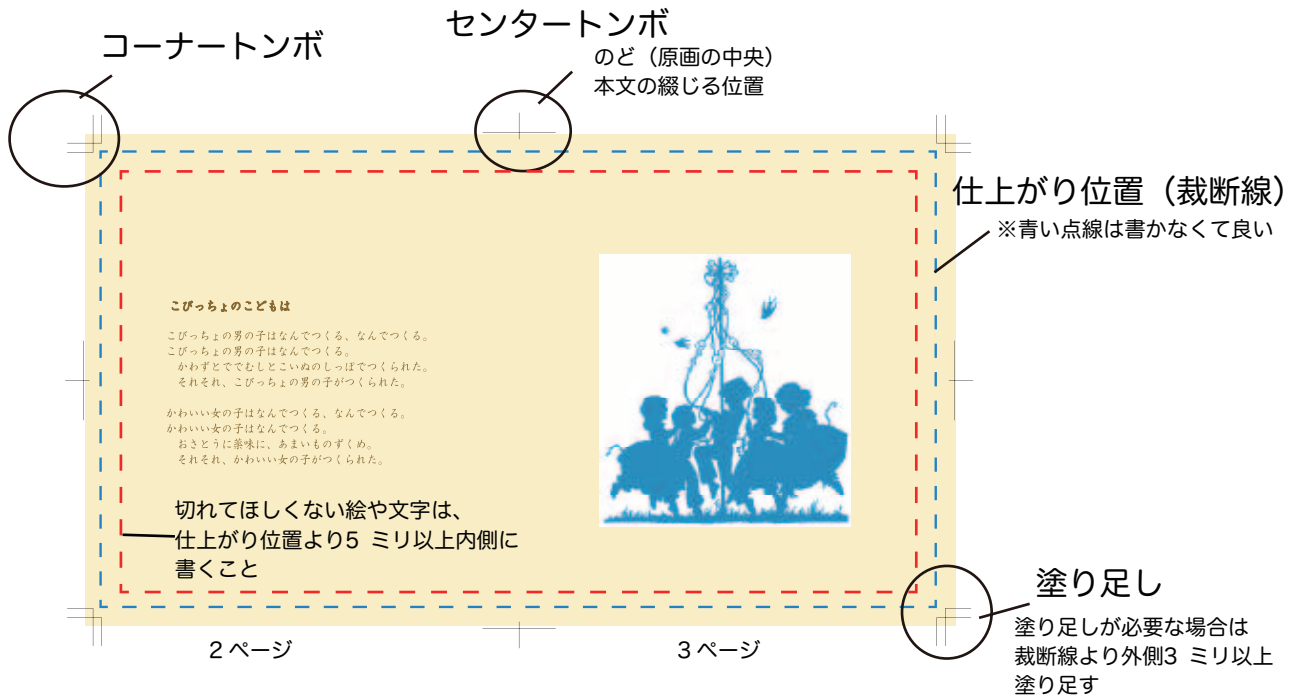


絵本を描くうえで、しっていて欲しいこと

絵本原画は2ページ=1見開きとして描きます。データ入稿も同じです。

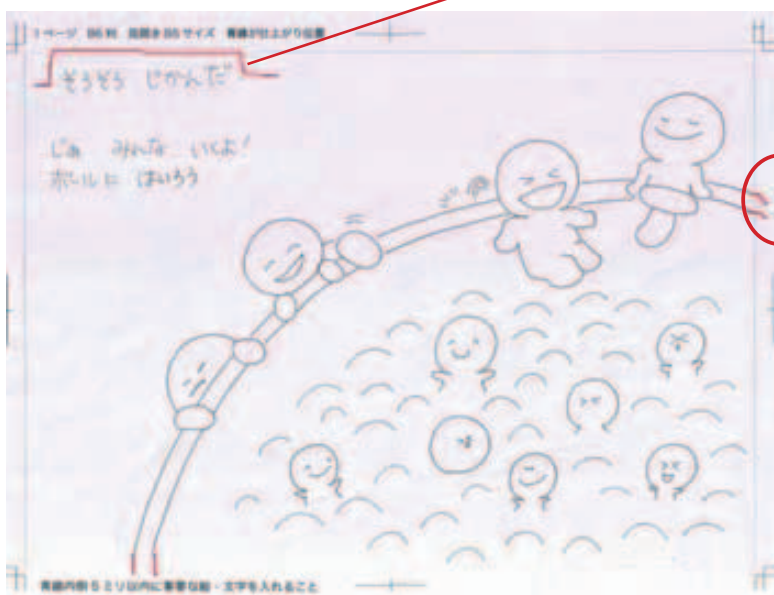
必ず原画に「トンボ」はご記入ください。完成サイズ・中心の「のど」の位置がわかるように書いてください。薄い鉛筆線でOKです。

※扉（1ページ）と奥付（最終ページ）は見開きで描く必要はありません。



● 注意点

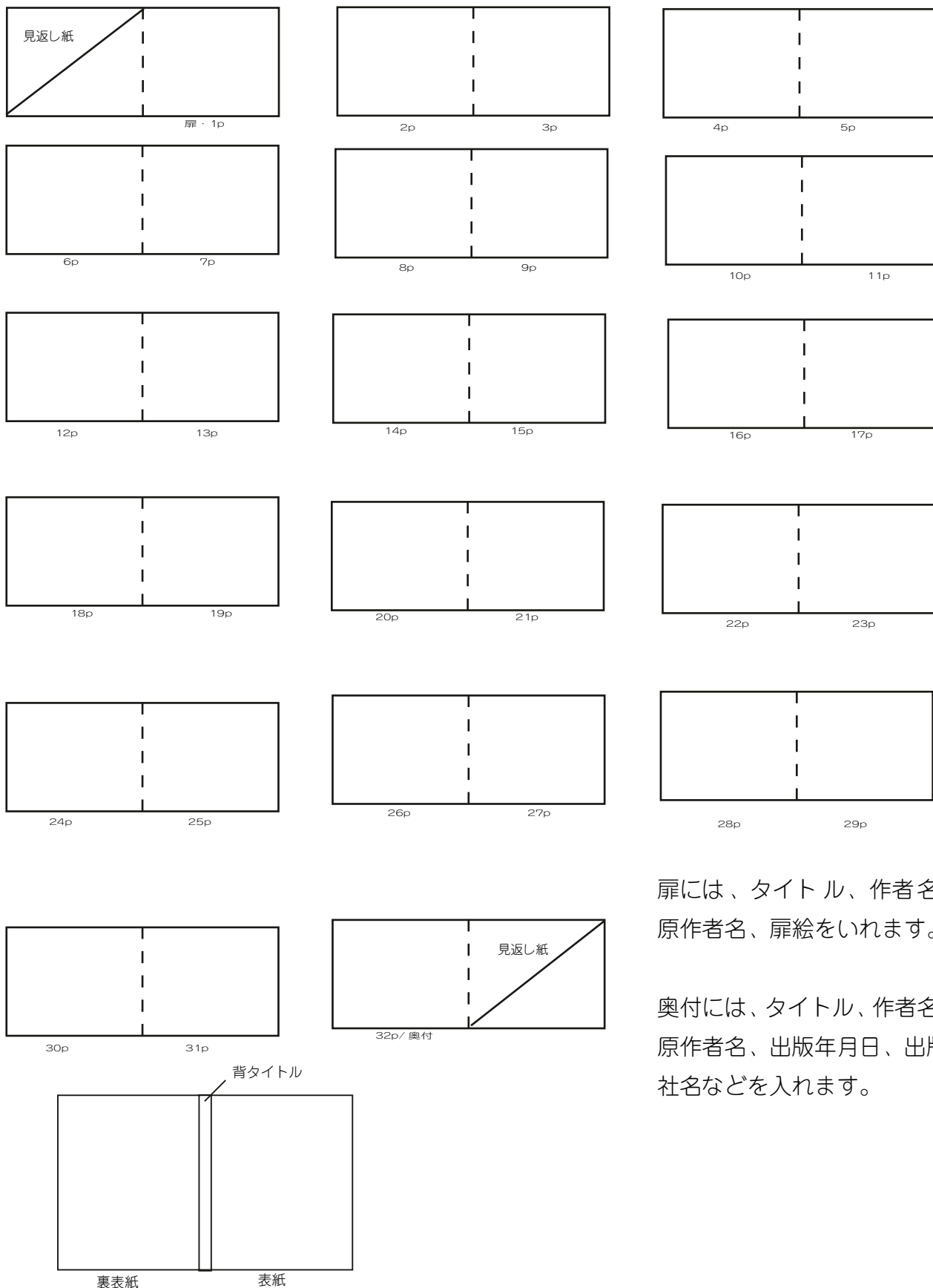
文字位置下げる



背景色だけでなく、登場人物などをページ外側までいっぱいに描きたい時は、塗り足し部分（裁断線外側）まで人物線を描いてください。

●ページの割付・ストーリーボード

文章横書きの場合、本文ページは以下のようになります。見開きページからスタートすると、1ページ目が空白になります。



扉には、タイトル、作者名、原作者名、扉絵をいれます。

奥付には、タイトル、作者名、原作者名、出版年月日、出版社名などを入れます。

色飛びする淡い色

絵本をパステルカラーで仕上げる人も多いのですが、全体的に淡い色彩を多様すると、色がキレイに印刷できません。自分が思っているよりも、濃いめに色を彩色するようにした方がよいです。

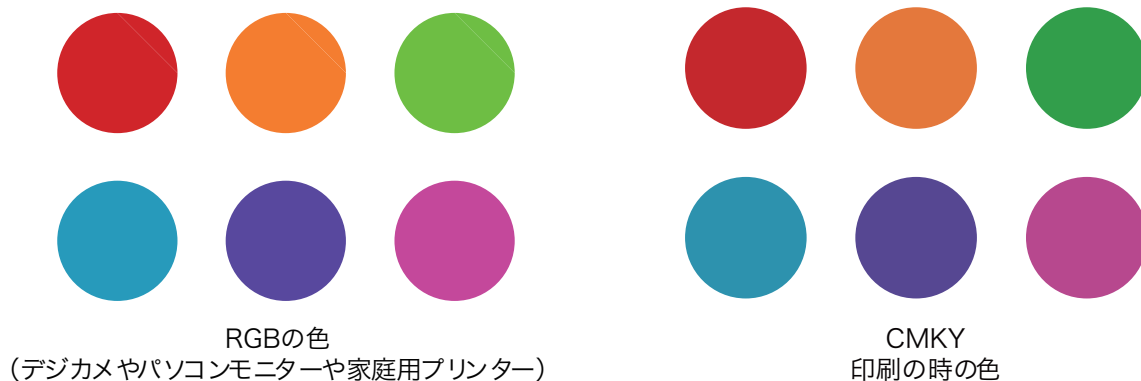
10%以下の淡い色で原画彩色すると、印刷では色がでないので注意してください。

シアン	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
マゼンタ										
イエロー										
黒										

RGB と CMKY の色の差

まったく同じ色でも、印刷したときには、違う色になります。それをあらかじめ考慮したうえで彩色や色の指定を行ってください。

下の色の差は、同じ色をパソコンモニターで見ているときと印刷したときの差を表現しています。



RGB 設定では、透明感のある色ですが、印刷すると黒っぽく不透明な色になります。

だからといって、色を薄くぬると、印刷したときに全く色が出ないこともありますので要注意です。

原画入稿されるお客様は、一度、ご自分の作品をカラーコピーしてみると、印刷した時の雰囲気の仕事がわかります。コピーをしてみると、彩色が薄くて、色がなくなってしまう箇所もよくわかります。入稿前に、一度、カラーコピーをしてみることをおすすめします。